

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	84,300,000		8,900,000	75,40,000
	有価証券	256,600,000			256,600,000
	基本財産計	340,900,000		8,900,000	332,000,000
特定資産	退職給付引当資産	83,566,000			83,566,000
	特定資産計	83,566,000			83,566,000

(記載上の留意事項)

- 基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。
- 重要な増減がある場合には、その理由、資産の種類 of 具体的な内容及び金額の脚注をするものとする。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	83,566,000				83,566,000

(記載上の留意事項)

- 期首又は期末のいずれかに残高がある場合にのみ作成する。
- 当期増加額と当期減少額は相殺せずに、それぞれ総額で記載する。
- 「当期減少額」欄のうち、「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、その理由を脚注する。
- 引当金について、財務諸表の注記において記載している場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。